

まこえとことば通信

令和6年12月
小金井第二小学校
こだま学級
TEL.042-385-3327

早いもので、今年も残りひと月となりました。2学期、在籍校の音楽会や展覧会、学習発表会で頑張った子供たち。通級の時間に演技の台詞の練習をしたり、演奏する曲と一緒に聴いたり、前向きに取り組む児童の様子を見て、嬉しくなります。最後の枠に通級してくる子供たちが帰る頃には、日も落ちて暗くなり始めています。在籍学級での勉強に加え、それぞれの目標に向かってこだま学級でも頑張る子供たちに、拍手を送りたいと思います。



そして、通級の送迎や宿題への協力など、通級を支えてくださった保護者の皆様、お忙しい中、通級へのご配慮や連絡帳へのご記入など、通級を支えてくださった在籍校の先生方にも、感謝申し上げます。3学期も引き続き、家庭、学校、こだまで連携しながら、子供たちの成長を見守っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。1月、子供たちから年末年始の思い出を聞くことを楽しみにしています。

<指導経過報告書>

学期末、在籍学級の担任の先生を通して、各家庭にこだま学級の『指導経過報告書』をお渡ししています。内容をご確認の上、コメントをお願いいたします。

3学期の通級初日に、こだま学級の担当者に直接お渡しください。

※相談通級の場合は、指導経過報告書はありません。

12月～3月の予定

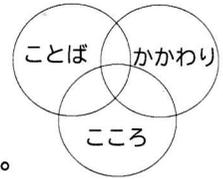
- 12月 3日(火) 2学期個別指導終了・以後保護者面談期間
4日(水) 全体グループ学習(15:15~16:30)受付15:00~体育館
11日(水) 吃音グループ (15:15~16:30)
18日(水) きこえグループ (15:15~16:30)
- 1月 9日(木) 3学期通級開始
13日(月) 成人の日
24日(金) 会議のため午後通級なし
- 2月 5日(水) 小金井教育の日のため午後通級なし
11日(火) 建国記念の日
24日(月) 振替休日
27日(木) 入級委員会(午前)
- 3月 4日(火) 3学期個別指導終了・以後保護者面談期間
5日(水) 全体グループ学習(15:15~16:30)
12日(水) 吃音グループ (15:15~16:30)
19日(水) きこえグループ (15:15~16:30)
20日(木) 春分の日

今月の特集

「ことばを育むときに大切なこと～理解と支援～」

2学期こだま学級の保護者会は、東京学芸大学准教授である大鹿綾先生による講演会でした。ことばを育むためのヒントをたくさん伝えていただきました。一部ですが、ご紹介させていただきます。

*ことばに関わる3つのK (①ことば ②かかわり ③こころ) があります。この3つのバランス内に個人差はありますが、極端に苦手なところがあるとコミュニケーションに苦手がでます。“ことばの力を育てる”ためには、「この人とおしゃべりしたい」「伝えたい」という気持ちが育っている必要があります。



*令和6年4月1日から障害者差別解消法の改定により、合理的配慮の提供が義務化されました。進学先や就職先で支援を必要としたときに、まずは合理的配慮について本人から申し出る必要があります。そのためには、相手に「何をしてほしいか」を伝える力が大切です。自分自身のことを理解し、サポートを求められる“セルフアドボカシー”の力を身に付けておけるとよいとご助言をいただきました。

それまでにできることとして、

①どんなときに自分が不利益を被る可能性があるのか：障害について理解する。

②そのとき、どうしてもらいたいのか：

“この方法だと楽”という経験を重ねるために、試す→検証することを繰り返す。

③相手とどのように対話するのか：

語彙力も必要だが、話し方や態度、表情など、どうしたら受け入れてもらえるかを考えて対話し、調整する力を身に付ける。

大学生や社会人になったときに自分でできるよう、逆算して今から少しずつ自分でできるようにしていくことが必要です。

*生活言語(話し言葉)から学習言語(書き言葉)へとことばが広がるときには、偶発的学習が大切です。偶発的学習を繰り返すことで、学習言語を身に付けていきます。しかし、聞こえにくさがあったり、周囲の情報を取り入れたりするのが苦手なお子さんたちもいます。そんなときには、偶発的学習を意図的に学習させていくことが必要です。

その方法をいくつかご助言いただきました。

①感情を表すことば(抽象的かつコミュニケーション上で重要!)は、その様子・気持ちのときに教える「今、お母さん切ない気持ちだよ」など大人の心が動いたときに、あえて言葉にして伝えていく。

②家庭におけるルーティンの中のことば

「チン」で通じますが「温める」「電子レンジ」知っていますか？

「入浴した？」など普通の会話で使わないことばを意図的に使う。

③指示だけでなく、やりとりを深める

「学校どうだった？」「今日、寒いね。はおるもの着ていこうか」など大人も発信し、会話をする。

スーパーはことばの宝庫！

「ハロウィンだからカボチャがたくさん売っているね」「カレーには何が入っている？」「今日はどちらの人参にしようか」など、大人が頭の中で考えていることをあえて言葉にして会話にする。

子供は理解と定着の間に差があり、繰り返し練習することが必要です。また、本人が「覚えよう」と意識するために、ことばを覚えたかを競うゲームなどを取り入れることもよいそうです。

上記の方法が難しいときには、初めは大人が「お父さんだったら、こうかな」とモデルを示す必要があるとご助言いただきました。

*時間など目に見えないものは管理が難しいです。そこで、まず目に見えるよう工夫してみるとよいそうです。デジタルとアナログ時計のどちらが見やすいか確認したり、残り時間が色で表示されるタイマーのアプリを使ったりするなどの方法があります。

また、予定を立てる際に、1つずつの作業に時間のかかる子供もいます。できることの優先順位をつけて、ゆとりをもたせつつ毎日少しずつでも続けることが大切であること、“自分のこと”と思えるために予定の順番などを“自分で決めさせる”ことが必要であることをご助言いただきました。

大鹿先生の「進む速度は様々だが、長期的な成長を見据えて、焦らずコツコツと行動を重ねていくと子供は必ず伸びます。」という言葉が印象的でした。通級でも、ことばを育むための活動を大切にしていきたいと思います。是非、ご家庭でもご活用ください。